

平成31年1月28日

各位

ダイダン株式会社

空調イス「クリマチェア」を(株)オカムラと開発

— 第43回 地球環境とエネルギーの調和展『ENE X 2019』への出展お知らせ —

ダイダン株式会社（本店：大阪市西区、社長：藤澤一郎）と株式会社オカムラ（本社：神奈川県横浜市、社長：中村雅行）は、オフィスで執務する方の空調への快適感向上を目的とした、個別の送風機能および加熱機能を有する空調イス「クリマチェア」を共同開発しました。クールビズ対策のため、冷房設定温度がやや高めに設定されたオフィス環境でも、クリマチェア使用により体感温度を下げる効果や、冬季には暖房を補助する効果が得られます。オフィスで働く方の快適感を損なうことなく、オフィスの省エネルギー化推進に寄与します。

■ 背景

政府が掲げる SDGs^(※1) 実現に向けた主要方針の中で、オフィスに関わる項目として「徹底した省エネの推進」（優先課題⑤の取り組み）や「働き方改革の着実な実施」（優先課題①の取り組み）があげられています。

これまで当社は、「徹底した省エネの推進」に向けた施策の一つである ZEB^(※2) に関して、エネフィス九州およびエネフィス四国の計画・検証等を通じて、ノウハウを蓄積してきました。その成果として、エネフィス九州において、サステナブル建築賞の受賞や、国際的な環境配慮ビルの認証システムである LEED^(※3) の EBO+M（既存建物の運用と維持管理）部門にて、最高位の Platinum 認証などを取得しています。

オフィスでは、省エネに加えて、「働き方改革の着実な実施」につながる生産性向上も重要な要素であり、働きやすく・快適な環境構築が不可欠です。しかし、空調に関しては、様々な執務者が同じ室内にいるため、要求される温度が多様であることから、均一な温度環境を形成するだけでは不十分といえます。

本開発品「クリマチェア」を導入することにより、各個人で暑さ／寒さを調節することで、快適感を向上させ、生産性向上につながるものと期待されます。

■ 製品概要

従来、空調効果が不十分な場合には、例えば冷房時なら卓上ファン、暖房時ならひざかけの使用など、個人で冷房・暖房を補助する手段を使っていることが多いと思われます。

この「クリマチェア」は、椅子座面の左右両側に設けた吹出口より送風することで冷房

効果を補い、また座面の内蔵ヒーターにより暖房効果を補います。

また「クリマチェア」は、当社のクラウド型自動制御システム^(※4)との連携機能を有します。そのため、例えば「クリマチェア」の利用率が少ない場合には空調機運転を停止させ、さらなる省エネを図るなど、利用状況に応じた空調最適化が可能です。

ダイダンとオカムラは、空調機能をオフィスチェアに組み込む研究を共同で行い、製作にあたってはオカムラに協力を頂きました。

「クリマチェア」は、第43回 地球環境とエネルギーの調和展『ENEX 2019』（会期:1月30日～2月1日、会場:東京ビッグサイト）への出展、および現在建設中の『ZEB』建物であるエネフィス四国（2019年5月開設）への導入を予定しております。

来年度内の一般販売を目指しています。

（主な仕様（予定））

- ・電 源： リチウムイオンバッテリー
- ・機 能： （冷房時）座面左右の吹出口から送風／（暖房時）座面ヒーターで加熱
- ・充 電： ACアダプター
- ・通 信： クラウドへのデータアップロード
- ・モード： 送風／加熱
- ・価 格： 未定



(※1) SDGsとは、持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) のことで、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。政府も日本の「SDGsモデル」構築を目指し、次の8つの優先分野に取り組むことを目標に掲げています。

①あらゆる人々の活躍の推進、②健康・長寿の達成、③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション、④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラ整備、⑤省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会、⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全、⑦平和と安全・安心社会の実現、⑧SDGs実施推進の体制と手段

(※2) ZEBとは、省エネによりエネルギー消費量を従来建物比50%以下とした建物のことを指します。エネルギー消費量の削減量に応じて、3段階のグレードが設けられており、省エネで50%削減したものを *ZEB Ready*、省エネのみもしくは省エネと創エネ合わせて75%削減したものを *Nearly ZEB*、省エネと創エネ合わせて100%削減したものを『*ZEB*』と称しています。

(※3) LEED (Leadership in Energy and Environmental Design) は、非営利団体 USGBC (米国グリーンビルディング協議会) が主催する建物環境性能認証制度のことで、約140の国と地域で取り組まれており、国際的に普及している建物認証制度のひとつです。

(※4) 「IoTを活用したスマートビルシステム」の開発を進めています。

(既報) 2017/12/19『ビルの空調制御をIoTにより完全クラウド化するシステムを開発』

【お問合せ先】 ダイダン株式会社 技術研究所 田中
〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 390
Tel : 049-258-5725
E-mail : tanakayasunobu@daidan.co.jp

以上